

講義名	公共経済学 (Public Economics) [CVE.D311]	開講時期	3Q 及び 4Q 水曜日 3-4 コマ	単位数	2-0-0	M114 講義室																																
担当教官	福田 大輔 准教授	坂野 達郎 教授	山内 弘隆 一橋大学大学院教授 (非常勤)																																			
講義の目的	1. 費用や価格等のミクロ経済理論, 2. プロジェクトの経済評価手法, 3. 公共事業のマクロ経済効果, 4. 経済的なインセンティブを念頭においた制度設計理論, 5. 企業統治の基礎理論, 6. エネルギー産業の構造や PFI 等, 社会資本整備を取り巻く経済学的な基本的考え方を習得する.																																					
講義計画	<table><tr><td>1. 土木事業・公共投資の評価における経済分析の役割(福田)</td><td>9 月 27 日</td></tr><tr><td>2. 消費者行動理論の基礎(福田)</td><td>10 月 4 日</td></tr><tr><td>3. 生産者行動理論の基礎(福田)</td><td>10 月 11 日</td></tr><tr><td>4. 市場の理論(福田)</td><td>10 月 18 日</td></tr><tr><td>5. 市場の失敗とその是正(福田)</td><td>10 月 25 日</td></tr><tr><td>6. 公共事業のミクロ経済学的評価: 費用・便益分析(福田)</td><td>11 月 1 日</td></tr><tr><td>7. マクロ経済と公共投資(福田)</td><td>11 月 8 日</td></tr><tr><td>8. 中間試験と解説(福田)</td><td>11 月 15 日</td></tr><tr><td>9. 隠れた行動とモラルハザード(坂野)</td><td>11 月 29 日</td></tr><tr><td>10. 隠れた情報と逆選択(坂野)</td><td>12 月 6 日</td></tr><tr><td>11. 企業統治とエージェンシーの理論(坂野)</td><td>12 月 13 日</td></tr><tr><td>12. オークション理論(坂野)</td><td>12 月 20 日</td></tr><tr><td>13. 公共財と選好顕示(坂野)</td><td>1 月 10 日</td></tr><tr><td>14. 公益事業としてのエネルギー産業(山内)</td><td>1 月 17 日 (注意:講義室は W833)</td></tr><tr><td>15. インフラ整備における民間資金活用の経緯と展望(山内)</td><td>1 月 24 日 (注意:講義室は W833)</td></tr><tr><td>16. 期末試験</td><td>1 月 31 日</td></tr></table>					1. 土木事業・公共投資の評価における経済分析の役割(福田)	9 月 27 日	2. 消費者行動理論の基礎(福田)	10 月 4 日	3. 生産者行動理論の基礎(福田)	10 月 11 日	4. 市場の理論(福田)	10 月 18 日	5. 市場の失敗とその是正(福田)	10 月 25 日	6. 公共事業のミクロ経済学的評価: 費用・便益分析(福田)	11 月 1 日	7. マクロ経済と公共投資(福田)	11 月 8 日	8. 中間試験と解説(福田)	11 月 15 日	9. 隠れた行動とモラルハザード(坂野)	11 月 29 日	10. 隠れた情報と逆選択(坂野)	12 月 6 日	11. 企業統治とエージェンシーの理論(坂野)	12 月 13 日	12. オークション理論(坂野)	12 月 20 日	13. 公共財と選好顕示(坂野)	1 月 10 日	14. 公益事業としてのエネルギー産業(山内)	1 月 17 日 (注意:講義室は W833)	15. インフラ整備における民間資金活用の経緯と展望(山内)	1 月 24 日 (注意:講義室は W833)	16. 期末試験	1 月 31 日	
1. 土木事業・公共投資の評価における経済分析の役割(福田)	9 月 27 日																																					
2. 消費者行動理論の基礎(福田)	10 月 4 日																																					
3. 生産者行動理論の基礎(福田)	10 月 11 日																																					
4. 市場の理論(福田)	10 月 18 日																																					
5. 市場の失敗とその是正(福田)	10 月 25 日																																					
6. 公共事業のミクロ経済学的評価: 費用・便益分析(福田)	11 月 1 日																																					
7. マクロ経済と公共投資(福田)	11 月 8 日																																					
8. 中間試験と解説(福田)	11 月 15 日																																					
9. 隠れた行動とモラルハザード(坂野)	11 月 29 日																																					
10. 隠れた情報と逆選択(坂野)	12 月 6 日																																					
11. 企業統治とエージェンシーの理論(坂野)	12 月 13 日																																					
12. オークション理論(坂野)	12 月 20 日																																					
13. 公共財と選好顕示(坂野)	1 月 10 日																																					
14. 公益事業としてのエネルギー産業(山内)	1 月 17 日 (注意:講義室は W833)																																					
15. インフラ整備における民間資金活用の経緯と展望(山内)	1 月 24 日 (注意:講義室は W833)																																					
16. 期末試験	1 月 31 日																																					
成績評価	中間試験 (40%), 期末試験 (40%), レポート課題・小テスト (20%)																																					
講義資料	基本的に講義時に配布するが, 事前に WEB に掲載して各自で印刷・持参することを指示する場合もある. 資料は全て OCW-i に掲載予定.																																					
教科書・参考書	(参) 竹内健蔵 (2008) 交通経済学入門, 有斐閣ブックス. (参) 山内弘隆・竹内健蔵 (2002) 交通経済学, 有斐閣アルマ. (参) 西村和雄 (2006) ミクロ経済学, 東洋経済新報社. (参) クルーグマン・ウェルス (2009) クルーグマンマクロ経済学, 東洋経済新報社. (参) Campbell, D.E. "Incentives: Motivation and the Economics of Information (2nd Ed.)" Cambridge University Press, 2006.																																					
履修の条件	「土木計画の理論と数理」を履修済みであることが望ましい. また, 「交通システム工学」も並行して履修することが望ましい.																																					
担当教官から一言	経済学と土木工学の関連性, 及び, 土木事業とその関連政策を経済学的に分析・評価することの意義を理解してもらいたい.																																					
連絡先	E-mail: fukuda@plan.cv.titech.ac.jp / tsakano@soc.titech.ac.jp (質問は随時 Email で受け付ける.)																																					